

2019年新春旗開き

不当なボーナスカット攻撃、三度カットゼロを勝ち取った成果を確認!

地本は1月13日、大崎南部労政会館において「新幹線地本2019年新春旗開き」を開催しました。

挨拶に立った杉澤委員長は「年末のボーナスにおいて、三度カットゼロを勝ち取った。この間の闘いを積み重ねた結果であり東一運の川本さんと分会の仲間が裁判闘争に立ち上がったからだ。カット攻撃を完全に粉碎する闘いを今後もさらに推し進めていく。さらに年休問題や一方的休日出勤問題等、職場における闘いについても社会的な拡がりや他労組組合員に訴える闘いを強化していく。また、この一年の大きな動きとしてあるのは、安倍政権がいよいよ憲法改正のための国会発議と国民投票の実施を目指していることである。言うまでもなく憲法改正の狙いは『9条改悪』である。安倍政権の暴走を許さないために、国民投票にNO!を突き付けよう」と、力強く年頭に当たっての所感を述べました。



また、日本鉄道事業協会労働資料館副館長の川村潤氏から、「三鷹事件と安倍9条改憲」と題した講演を受けました。川村さんはこれまで三鷹事件に関する多くの調査・研究に携われ、得られた貴重な証言やエピソード等交えながら事件の背景や状況などが語られ、今後の闘いの糧となりました。

第二部では懇親を深め合い、各分会からの決意表明を受けて、今年も職場の諸問題に対して闘いに邁進することを確認しました。

憲法9条改悪を許すな! 国民投票にNO!を突き付けよう!

*お詫びと訂正

幹線プレス第411号・新年号(2019年1月1日発行)の号数は412号が正当です。訂正し、お詫びいたします。